

1年 道徳科学習指導案

令和4年1月15日(土)

1年1組 35名 授業者 渡部 順子
 1年2組 35名 授業者 宮坂 真緒
 1年3組 35名 授業者 鈴木 優
 1年4組 34名 授業者 永山 愛実

- 1 主題名 節度・節制
- 2 教材名 「かぼちやの つる」 東京書籍
- 3 ねらい 周囲の人と自分のことを考え、わがままをしないで生活しようとする心情を育てる。
- 4 展開

	学習活動（主な発問と予想される児童の反応）	※指導上の留意点
導入	1 本時の教材について知る。 ①畑になっているかぼちやを見たことがありますか。 ○家で料理するのは見たことがある。 ○どうやって育つかは知らない。	※学校で育てた朝顔などに触れ、かぼちやは、つるを伸ばしながら成長するということを押さえる。
展開	2 教材「かぼちやの つる」を読んで、話し合う。 ①つるを「ぐんぐん」のぼすかぼちやは、どんなことを思っていたのでしょうか。 ○大きくなりたいな。 ○みんなの邪魔をしてやる。 ②みんなに注意されたかぼちやは、どう思ったのでしょうか。また、注意したみんなは、どう思ったのでしょうか。 ○みんなうるさいな。 ○まだ畑が空いているよ。 ○注意なんか聞かない。 ○自分の場所を守って。 ○ぐんぐん伸びたい。 ○かぼちやさん、あぶないよ。 ③トラックのタイヤにつるを切られ、泣いてしまったかぼちやは、どんなことを思ったのでしょうか。 ○痛いよう。 ○みんなの言うことをしっかり聞けばよかった。 ○こんなに伸ばさなきゃよかった。 3 これまでの自分を振り返る。 ①かぼちやのように、やりたいようにやりすぎて、失敗してしまったことはありますか。その時、どんな気持ちでしたか。 ○休み時間にボールを独り占めして、友達を困らせてしまったから、次は友達に譲りたいと思った。 ○黒板係の仕事をやらず、迷惑をかけてしまった。	※かぼちやが「ぐんぐん」つるを伸ばす様子、それにみんなが困ったり、注意したりする様子が分かりやすいように、挿絵を貼りながら読み聞かせをする。 ※ロールプレイや役割演技を通して、どちらの立場の気持ちも考えられるようにする。 ※かぼちやの思いの変化に気付かせるようにする。
終末	4 教師の説話を聞く。	※節度を保てず失敗したが、その反省を生かして、自分も周囲の人にも気持ちよく過ごすことができた、といった内容を話す。

5 評価

- ・周囲の人と自分のことを考え、わがままをしないで生活しようとする心情を養うことができたか。